



先輩職員インタビュー

「安全で安心できる快適な住まいとまちづくり」



建 築

所属

土木部 建築住宅課

● これまでの経歴(所属年度)

H15~H17 会津若松建設事務所 建築住宅課
H18~H20 喜多方建設事務所 建築住宅課
H21~H23 県北建設事務所 建築住宅課
H24~H26 土木部 営繕課
H27~H28 いわき建設事務所 建築住宅課
H29~H30 県北建設事務所 建築住宅課
H31~ 土木部 建築住宅課

Q. 現在の仕事内容とそのやりがいについて教えてください。

A. 建築住宅課では、住宅施策の企画・立案、県営住宅の整備・管理、住まいのセーフティネットの充実などに向けて取り組んでいます。

その中で私は主に、県内の公営住宅が良好な環境となるよう「公営住宅の新規整備」や「既存公営住宅の活用」を進めるために、国との調整、市町村を支援する業務に携わっています。また、自然災害で被災した公営住宅の復旧業務にも携わっています。

住まいの良好な環境整備が進められることで「安全や快適性」を、被災住宅が復旧されることで「安心」を提供する仕事であることに、とてもやりがいを感じています。

Q. 福島県職員として、実現したいこと、目標としていることは何ですか。

A. 一人では実現できないことであっても、多くの人の関わりにより実現できることがあります。県職員として、どんな時でもそっと寄り添い、たくさんの想いの実現に向けて必要な下支えができる職員でありたいと思っています。

また、建築職員として、日々の暮らしの中で1人でも多くの方に「暮らしやすい」と感じてもらえる住環境を提供できるよう、1つ1つの仕事をしっかりとこなしていくことを目標としています。



↑WEBでの打ち合わせの様子。



Q. 仕事をする上で心がけていることは何ですか。

A. シンプルですが、「約束を守ること」と「話をよく聞くこと」を心がけています。どちらも信頼関係の構築や仕事を円滑に進めていく上で、とても大切なことだと思っています。

(改修前)



(改修後)



↑ 既存公営住宅の「居住性向上」、「長寿化」のため、外壁改修（外断熱+塗装改修）を行いました。

Q. あなたをキーワードで伝えるとしたら、どんな言葉が思い浮かびますか。

A. 「地元はいわき」「現場密着」「シンプル&ベーシック」「趣味は音楽鑑賞」「めがね」

Q. 「地元はいわき」について教えてください。

A. 地元いわきは“ほっとできる”とても大切な場所ですが、人事異動で会津や県北地域に居住し、その地域でしか味わえない食や人情に触れ、県内の様々な魅力を発見することで、地元以外の生活も十分に楽しんでいます。

Q. 「趣味は音楽鑑賞」について教えてください。

A. 毎朝、仕事のやる気モードをオンにするため、通勤時に必ず音楽を聴いています。どんな時でもそっと寄り添ってくれる音楽は私の生活の一部であるとともに、メンタルヘルスを健全に保つためにも欠かせないものとなっています。

(復旧前)



(復旧後)



↑ 令和元年東日本大台風で被災した既存公営住宅の復旧を行いました。